

令和4年2月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和4年2月22日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	15時00分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	谷岡哲郎
生涯学習部長	小坂正樹	教育企画総務課長	重河啓子
就学課長	畑克己	指導課長	田中光彦
指導課教育支援担当課長	一守和弘	保健体育課長	力竹孝典
地域子育て支援課課長補佐	黒瀬格	こども園推進課長	田中哲也
教育研究研修センター所長代理	八木信英	教育研究研修センター情報教育推進室長	村尾剛介
文化財課長	草原孝典	市民生活局スポーツ文化部 スポーツ振興課長	唐井努
岡山っ子育成局子育て支援部 こども企画総務課長	山本章文	岡山っ子育成局保育・幼児教育 部こども園推進課	田中哲也
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課長	石原加恵	岡山っ子育成局保育・幼児教育 部就園管理課長	田中恵美子
岡山っ子育成局保育・幼児教育 部幼保運営課長	森本隆		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課副主査)	中村陽子
5 議題及び結果			
報告第3号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承認	
報告第4号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承認	
報告第5号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承認	

報告第 6 号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承認
報告第 7 号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承認
第 2 号議案	岡山市文化財保護審議会への諮問について	原案可決

6 教育長等の報告 [令和4年1月15日(土)～平成4年2月11日(金)]		
1/18	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/20	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/26	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/28	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
2/8	第3回岡山市総合教育会議	総務法制企画課
教育長	○ 「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」について、今年1年を振り返って総括してもらえるか。	
指導課長	○ 今年度最後の「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」を1月28日に御津小学校で無事終えることができた。昨年度はなかなか実施することが叶わなかったが、今年度は各学校で工夫をしながらどうにかできたというのが実情である。そういった中で、中学校区で1つの目標に向かって取り組むというところは、かなり浸透してきたのではないかなと感じている。今後はその中学校区の取組をより実りある形に変えていく必要があると考えている。次年度以降は、好事例も各学校に紹介しながら、中学校区でしっかり連携して取り組むのだといったところをさらに推進していきたいと考えている。	
河内委員	○ 中学校区で連携して取り組むというのが充実してきたという話であったが、具体的にどんなことが充実してきているのか。 それから、このコロナ禍で、なかなかお互いの授業を見合うということができにくいと思うが、それをカバーするためにどういう工夫をしているのか、そういうことをもう少し具体的に教えてもらえたらと思う。	
指導課長	○ 今年1年間で大きかったのは、就学前と小学校の連携がこれまで以上に取れたのではないかと考えている。そういった幼稚園、認定こども園に、実際、小学校、中学校の先生が行かれて、その学習の様子を観察する。その中で、小学校はそのつながりの中でどういった具体の指導ができるかということで、特に小学校低学年においてかなりその連携が取れたのではないかと考えている。	
指導課長	○ コロナ禍において整ったこととして、やはり1人1台端末が入ったということで、学校のほうにもICTの活用をする意識がだんだん浸透してきて、今までであれば無理だったようなことがリモートで機会を設けることができたという好事例も聞いている。 また、校内研修も各学校で充実してきて、実際、授業を見に行かれた先生が校内研修でその授業の様子を伝えるだとか、そういったところで充実が図られていると考えている。	
石井委員	○ 同じところで、就学前というと、幼稚園、認定こども園、保育園と3つあると思うが、全てともつながりが深く連携できているという理解でよろしいか。	
指導課長	○ 基本的には、幼稚園、認定こども園が中心となって授業の様子を見に行っているが、地域協働学校というネットワークの中に保育園、それから私立のこども園等も入るような形で、徐々にではあるが、一つの中学校区で連携して子育てに取り組むというところは浸透してきたかなと思っている。これは今後さらに充実しなければいけないと思っはいるが、徐々に広がってきているというのは実感している。	
石井委員	○ 参考までに、保育園から小学校に上がってくる人の割合と、それ以外の人の割合は、大体でいうと何対何ぐらいなのか。地域にもよるかもしれないが。	
教育長	○ 10年ぐらい前であれば、5.5対4.5ぐらいで幼稚園が多かったと思う。今はもう逆転している。認定こども園をどう捉えるかであるが、保育園のほう	

<p>石井委員</p> <p>教育長 指導課長 指導課長</p> <p>教育長</p>	<p>が今は多くなっていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ そういった意味では、認定こども園が増えていっているの、そこでいろんな取組が広がっていけば、全体としては考え方が広がっていくということでもあると思うが、保育園自体の割合も多いのであれば、そこのつながりというのも今後、より継続して大事にしていきたいと思った。</li> <li>○ 保育園と幼稚園の割合としては、大体6対4ぐらいになっているか。</li> <li>○ そうである。幼稚園が少なくなっている。</li> <li>○ 保育園自体に学区制がないので、遠くから職場の都合で預けられたり、地域性にもよるが、半分ぐらいが地域のその周りの方、半分ぐらいが外の方、そんな感じのイメージを持っていただけたらと思う。</li> <li>○ 以上で、事業報告を終わる。</li> </ul>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>教育長</p> <p>全員 教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>教育企画総務課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ただ今から2月岡山市教育委員会定例会を開催する。 本日の傍聴希望者は1人おられる。入室していただいてよろしいか。</li> <li>○ (承認)</li> <li>○ こちらに、1月定例会の議事録があるので順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。</li> <li>○ 日程第3、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)</li> <li>○ 次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りする。 日程第4、報告第8号及び日程第5の第3号議案、第4号議案は、任免、賞罰等職員の身分取り扱いその他人事に関する事項として会議規則第7条第1項第1号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆様いかがか。</li> <li>○ (承認)</li> <li>○ それでは、日程第4の報告第8号及び日程第5の第3号議案、第4号議案は非公開と決定する。 次に、会議の議事の順序についてであるが、先ほど非公開と決定した報告第8号と第3号議案、第4号議案を最後に行いたいと思うが、委員の皆様いかがか。</li> <li>○ (承認)</li> <li>○ それでは、報告第3号から順に行いたいと思う。 日程第4、報告第3号、令和4年度的一般会計予算(案)について、教育企画総務課から報告をお願いします。</li> <li>○ 資料の1ページ、報告第3号、専決処理の報告についてである。 このたび、令和4年度岡山市一般会計予算案のうち、教育委員会分の教育費予算案への同意について教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、2月15日に専決処理したものである。 内容については、資料の2ページ、令和4年度岡山市一般会計予算(案)の概要についてをご覧いただきたい。 こちらが第10款教育費の目別歳出種目の表であるが、教育委員会関係の予算合計額は468億9,361万6千円となっており、前年度比で約21億円の減ということである。 このうち、昨年度に比べて増減が大きい項目の主なものについて説明させていただきます。 まず、第1項教育総務費、第5目事務局費、こちらは増えているが、GIGAスクール構想等に係る事業費の増大によるものである。 それから、その下、第5項小学校費、第10目学校建設費であるが、こちら、今年山南学園のほうを整備したので、来年度はその分の費用が減るので、減額</li> </ul>

ということになる。

それから、第10項中学校費、第5目教育振興費。こちら、中学校の教科書採択があった関係で、指導書であるとか、そういった関係の購入が必要であったが、来年度はそれをしないので減るということである。

それから、1つ飛んで第20項幼稚園費、第1目幼稚園管理費であるが、先ほどもちょっと話に出た幼稚園を民間の認定こども園に移行していく関係で人件費が減少したので、その分が減少となっている。

それから、第25項社会教育費であるが、第10目公民館費、こちら減っているのは、先日完成した上道公民館の建設費用の分が来年度は要らなくなるということ減っている。

それから、第15目図書館費、こちら中央図書館、今改装中であるが、そちらの費用が今年ということで、来年要らないので減ると。

同じような形で、第35目美術館費、こちらオリエント美術館が今改装をやはりしていて、来年度にはできるので、こちらの費用がまた減る。そういったことである。

それから、第30項保健体育費、第5目体育振興費。こちら、学校のプールの長寿命化を図っていくことになった。それで、計画的にそちらを進めていくので費用のほうが増えている。

それから、第15目学校給食費。こちら、新しい給食センターの土地の購入を今年度の事業費として計上していたが、今年度で買い付けということであるので、来年度はその分の費用が要らなくなるということである。

次に、資料の3ページをご覧ください。

こちらは、来年度の予算について、主な事業について岡山市の財政局のほうで作成した主要な施策、事業の中から教育委員会に関するものについて抜粋したものである。

たくさんあるが、大きく拡充された部分と、それから新規になっている部分について説明させていただきたいと思う。

資料の3ページ、一番上であるが、①学びづくり推進プロジェクト。これは学力調査及び質問紙調査を実施する岡山っ子アセス等を活用し、学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めるため、今年拡充している。

それから、⑦、下のほうになるが、GIGAスクール構想によるICT活用支援事業は、ICT支援員やヘルプデスクの適切な配置、端末の持ち帰りへの対応や授業での様々な著作物を円滑に利用するための授業目的の講習、送信、補償費の支払いを行うなど、GIGAスクール構想の実現に向けて人的支援や運用支援を行うものである。

続いて資料の4ページをご覧ください。

⑨学校空調設備、ここから新規のものであるが、学校空調設備に関する基礎調査。これは、学習環境改善のため、特別教室への空調整備の在り方の検討に係る基礎調査、どういうふうに始めていくかというふうな基礎調査を行うものである。

それから、その下に行って、⑫夜間中学校設立準備検討事業。これは、令和7年までの夜間中学校の設立を検討するためのものである。

以上で教育委員会に関係する一般会計予算案の概要についての説明を終わる。

教育長

○ それでは、令和4年度の一般会計予算案、何かご質問、ご意見があればお願いします。

片山委員

○ 1点まずお尋ねしたいのが、①の学びづくり推進プロジェクトの拡充に関しての「岡山っ子アセス」と「全国学力・学習状況調査」の結果分析を基に児童生徒の学習改善、授業改善を図るということであるが、先日も少しその分析に関して話が出ていたかと思うが、この中には、そういった分析に関わる予算も

指導課長	<p>入っているのか。</p> <p>○ 分析に係る予算は入っていない。各学校に結果のほうは提示する。それから、生徒個人にも結果のほうをお渡しする。その結果を基に各学校が今後どのような授業改善、生徒指導に力点を入れていくべきか検討する。それから、各個人においては、紙を渡して終わりではなくて、あなたのいいところ、ここをもう少し伸ばせたらさらによくなるよというようなお話を児童生徒本人、保護者、両方にお伝えさせていただき、より効果的に学習指導、生徒指導が機能できるように考えている。</p>
片山委員	<p>○ これまでもその分析に関しては職員の方々もすごくご苦労なさってプログラムを組まれたりというお話も伺って、いろいろな分析をしていただいて、価値のある改善に向けた策を練ってくださっていることと思う。やはり貴重なデータであることと、多分多角的な視点で分析をするということも、データに基づいたいろいろな探索ということも検討することが可能かと思うので、また今後に向けて練っていただければありがたいと思う。</p>
指導課長	<p>○ 少し補足をさせていただきたい。各学校、それから個人にお渡しするものとして、クロス集計したものとか、階層的に分かれたものとか、そういったものは受託された企業とやり取りをして、学校がより分かりやすい形で情報のほうは提供させていただきたいと考えている。</p>
上西委員	<p>○ ⑦の端末のこと。1人1台端末を配備した学校が今、何割ぐらいになっているのかということをお教えいただきたいのと、今後の配備に向けての目標みたいなものがあれば、お教えいただきたい。</p>
情報教育推進室長	<p>○ G I G Aスクール構想の端末の配備は、もう児童生徒には100%、全ての学校に令和2年度末に配備完了している。令和3年度から本格的に活用しているところである。</p>
上西委員	<p>○ 私も子どもが小学校に行っているが、コロナ禍の関係でお休みにどうしてもなることがあった。しかし、そういうときには活用はされなかったようなことを感じて、ちょっと今疑問に思ったのでお聞きした。</p>
情報教育推進室長	<p>○ 基本的には令和3年度からまず学校で使っていただくところから始めて、初めてICTを活用した授業というのを具体的にやり始めた。2学期からコロナ禍の関係で学校に登校できないという場合に関して、保護者の方の求めに応じて端末を持って帰って、家庭での学習に使っても構わないということで運用しているが、なかなかすぐには馴染んでいない。例えば、子どもたちが下校後に学級閉鎖が決まってしまうと持ち帰れなかったとか、その辺の運用面の課題があったりして、全て家に持ち帰って活用、運用できているかというのは、そこはまだできていない。今後そういったことも少しずつできるようにしながらやって行きたい。</p>
石井委員	<p>○ 同じG I G Aスクール構想のところで、端末が100%配備されて、その後、どういうソフトが使われていくのかということについて興味がある。他都市もいろいろ違うソフトが入っているのか、それとも国で統一されたソフトが入っているのか。岡山市は其中でどういったソフトの活用が見込まれているのかということも教えていただきたい。</p>
情報教育推進室長	<p>○ まず、本市で採用しているのは「クロームブック」というものである。基本的にまずG o o g l eのクラウドの中でG o o g l e側の無償のサービスとして提供されているツールである。それがいわゆる表計算であったり、文書作成であったりとか、プレゼンテーションであったり。あとデジタルホワイトボード機能ということで、クラウド上そのホワイトボードに、普通であれば、学級で班の中で書いたりするのが、端末上で例えば、グループの一人が付箋を貼ったりとか、デジタルで描き込んだりとか、そういうようなアプリケーションがもともとあるので、協働学習等で基本的にはまずしっかり使ってもらいたい。今年初めてなので、先生も子どもたちもそれを基本的に使ってもらうことがまず一つある。それとは別に、本市は、これも休校中等で家でもできるよう</p>

	<p>にということで、いわゆるドリルソフトである。自分の力に合わせて国算理社英と5教科について、学年で問題を選んで、自動採点されて、また新しくそのつまずきに合わせて問題が出されて、また解いていくというような自主学習ができるようなドリルソフトを本市では別に導入をしていて、それは学校においても朝の学習で使ったり、授業の終わりに、最後学びの確かめというところで使ってもらっている。まずはしっかり有効的に使ってもらおうということが一番である。導入初年度ということなので、やはりいろんな新しいツールが増え過ぎてしまうのもいけないのではと思っているので。ただ、どんどんGIGAスクール構想が広がっていて、新しい、無償も有償も含めて、いいツールが出てきているので、そういったものは、試行しながら、いいものはどんどん導入していきたいと考えている。</p>
石井委員	<p>○ いろいろ出てくると思うので、ぜひ研究を重ねていただきたいと思う。そういう先進的に特別にGIGAスクール構想に取り組むモデル校というのを決めてやるということもされていたと思うが、今後もやられるということなのか。</p>
情報教育推進室長	<p>○ 基本的には全校がモデル校ということで、そういったツールを使いながらも、やはりそれぞれの学校で創意工夫というか、ICT活用、この教科に関してはこんな使い方がありますよというたくさん事例を出していただいているので、その事例を私たちはしっかり受け止めて、それをまた情報展開していくというところでやっているが、また来年度以降もそういった新しいツールの導入も含めて、試行的にやっていくような学校、その活用具合も見ながら考えていきたいと思っている。</p>
河内委員	<p>○ デジタル教科書についてお尋ねをさせていただく。 デジタル教科書は、今、どの教科をどのような形で配備されているのか。金額的には今年度と来年度は変わらない配備になっているような感じであるが、この内容について教えていただきたい。</p>
指導課長	<p>○ デジタル教科書についてであるが、当初は、今年度と同じ英語で学習者用のデジタル教科書を用意しようとしていたところ、文科省のほうから、全国に英語の学習者用は配付するという通知が来た。そこで、もともと我々も次の手としては、いろいろな教科の教師用のデジタル教科書の導入を想定していたところであるので、今まで児童生徒用と思っていたものを教師用で各学校の実態に合わせて、学校に1教科選んでいただいて、その教科書を各学校に導入していくという形を考えている。 また、児童生徒用については、国のほうからモデルとして1教科、全校ではないが、8割程度の学校にはもう1教科追加であるので、そのあたりも各校ごとの選択にはなっていくが、導入を次年度は図っていきたいと考えている。次年度は教師用は1教科、それから英語が小中学校全体、文部科学省のモデルとして8割ぐらいの学校にもう1教科入るといったような状況である。</p>
河内委員	<p>○ 1教科というと、例えば小学校でいうと1年生から6年生まで国語を選ぶと、1年から6年までずっと1つずつという感じであるか。</p>
指導課長	<p>○ 委員のおっしゃられたとおりである。そのように想定している。</p>
河内委員	<p>○ そうすると、例えば4クラス、5クラスの大規模校だと、回して使うという感じになるのか。</p>
指導課長	<p>○ 恐らくライセンス契約になるので、クラウドに上げて、そこから引っ張り出すというような形を想定している。</p>
河内委員	<p>○ デジタル教科書を使うと、本当に授業が楽しくなるし、分かりやすくなると思う。予算が許せば、今後もたくさん導入していただきたいと思う。 もう一点GIGAスクール構想、⑦番のところ、ICT支援員とか、ICTヘルプデスク、増員はできなかったように見えるが、これについて少しご説明いただきたい。</p>
情報教育推進室	<p>○ 今年度、GIGAスクール構想初年度ということで、まずICT支援員を</p>

<p>長</p>	<p>初めて配置した。小中高等学校、岡山市立の学校に朝から夕方までの終日で年間17回。人数でいうと、約16人の支援員で回ってくださっていた。ICTヘルプデスクに関しては、もともといた2人に加えて3人増の5人体制である。財政課との協議の中で、GIGAスクール構想初年度なので、人的な配置は必要であろうというところであった。ただ、今年度1年目、そういった支援員が必要であったり、ヘルプデスクのサポートもあったが、やはりまだまだ支援が必要だということで、初年度ではないが、少なくとも今年度分継続、プラスアルファも組めたらよかったが、まずしっかりと今年度と同じように、サポートしたいということで予算取りをさせていただいている。基本的には、ICT支援員、ICTヘルプデスク、同人数で来年度もしっかりと学校をサポートしたいと思っている。</p> <p>ただ、ICT支援員に関しては、先ほど申したように、終日17回ということであったが、小規模な学校からは、1日いていただくと、何をしてもらったらいいのだろうかというようなどころがあった。今後は上手に配置をしながら、例えば半日で2校回るとか、大規模校にその分利用してもらおうなど、上手く活用していきたい。</p> <p>人件費の高騰などもあり、なかなか増員というのは難しいところがあったというのが正直なところである。</p>
<p>河内委員 情報教育推進室 長</p>	<p>○ ICTのヘルプデスクが2人から3人か。 ○ 3人増員の計5人である。</p>
<p>河内委員 情報教育推進室 長</p>	<p>○ 増員というのは、今年度の予算の中で補正予算を組んで5人にしたということか。 ○ 補正ではなく、令和3年度の当初予算で5人体制を組んでいる。来年度も5人体制を組む予定である。</p>
<p>河内委員 情報教育推進室 長</p>	<p>○ 現場からは、支援員の増員とか、ヘルプデスクの増員などの要望の声は出ないのか。 ○ 学期ごとに校長先生にアンケートを取らせていただいているが、ぜひ同規模で来年度以降も支援員やヘルプデスクを配置してもらいたいというような要望の声は多くいただいている。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ ⑤番の不登校児童生徒支援員配置事業に関連してである。不登校の未然防止から、できるだけ長期化しないように丁寧な支援がなされていることと思うが、ここに書かれているのは、通学支援や別室登校の児童生徒に対する支援ということが書かれていて、実際登校できないお子さんたちに対しての支援というのは具体的にどのように取組をされているのかということをお教えしてほしい。というのは、先ほどのタブレットの使用等に関しては、例えば学校に来られないお子さんに対しては、タブレットを提供して、それを介して学校とつながるとか、きっといろいろお考えだと思うが、何かそのあたりの不登校のお子さんや、あと今回のコロナ禍において登校自粛をされているようなお子さんに対しての学習の補償みたいところで何か取組等、計画しておられたりしたら教えていただければと思う。</p>
<p>教育支援担当課 長</p>	<p>○ 不登校の児童生徒については、おっしゃるとおり、登校支援であるとか、別室の支援ということに特化したものである。タブレットの使用については、学習環境が整っているお子さんについては、学校で様子を見ながらになるが、それが適切だと判断されるお子さんについては、クラスメイトや先生とつながる準備はできているところであるので、今後進んでいくと考えている。</p>
<p>河内委員 情報教育推進室 長</p>	<p>○ 家庭でのタブレットの活用はどうか。 ○ タブレットの活用に関しては、休んでいるお子さんに関しては、先ほど言ったように持って帰っていただいて、ツールとしてドリル学習をしてもらおうとか、学校ともつながるというところ。あと、自分のアカウントで当然パスワード、ログインができるので、自分で調べたいものを調べるとか、まとめていく</p>

<p>上西委員 情報教育推進室 長</p>	<p>という、そういった学習も端末を持って帰っているお子さんはできるので、そういったところで活用していただけるということである。</p> <p>○ やはり自宅でインターネットがつながる環境にあることが必要なのか。</p> <p>○ クロームブックは基本的にはインターネット環境が必要となる。インターネット環境がない家庭の方には、モバイルルーターを用意しているので、必要に応じて貸出しをさせていただいてるところである。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ ⑩番の学校給食の公会計化についてお伺いしたい。公会計化に伴う初期費用について、年度をまたいでトータルでどのぐらいかかるのかというところと、公会計化以降の毎年のランニングコストとして、追加でどのぐらいがかかっていくのか。</p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ トータルの費用であるが、総事業費としては、電算委託料が大体2千万円ほどかかることになっている。委託料と人件費等も、全部含めれば、大体2億3,600万円ほどかかるということになっている。初期費用から見ると、今回予算のほうではアウトソーシングのほうをやっていこうということと、それからDX化ということで、デジタル化をやっていこうということと、2つあるので、人件費と、アウトソーシングの金額ということであれば、若干アウトソーシングの金額のほうの方が安いというふうには見積もっている。ちょっと正確な数字までは、申し訳ないが、ここで言うと、DXなしの直営の場合であれば、大体8,970万円ほどを見込んでいたということであるが、これがDXありのアウトソーシングという形になれば、大体5億370万円ほど予定をしているという形にはなっている。その2つの理由によって、アウトソーシングをやって、それからDX化を進めることによって、全体の経費のほうは下がる見込みというふうに試算をしているということである。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 今、ご説明いただいたのは、今後公会計化後に毎年2億とか5億とかというお金がかかっていきますよというお話という理解でいいのか。</p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ トータルで言っているので、大体毎年のランニングで言うと、7,600万円ぐらいかかるような形になる。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ そのシステム自体もよく分からないが、ほかの市等でもたくさん同じことをやっているのだから、独自開発ということではなく、ほかの市等で使っている一番便利で安いものを同じように採用して、カスタマイズするような、そういうことでいいのか。</p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ 実はこの公会計化に係るDX化というのは、恐らくこちらのほうで把握している分であれば、初めてという形である。アナログでのノウハウというのは全国でやっておられる分はあるが、それをどうやってDX化、デジタル化をやっていくかというところについては、初めての分野ではあると思っているので、それなりにつくるといっては、大変な作業になると思っている。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 今のところであるが、公会計化をすると、かなりの人員の増員が必要になってこないのか。</p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ もともと直営でやると、人数的にも十数人という形で試算をしていたが、アウトソーシングをやることによって、実際の職員的な部分でいうと、大体3人から4人程度でできるのではないだろうかというふうには思っている。あとは、アウトソーシングに係るその管理とか、そういうものに実際にかかるし、一部会計年度任用職員という形の方で債権回収というか、そういったものにもかかってはくるのだからとは思っているが、それを抜けば、実質の職員という形でいえば、3人ぐらいでいけるのではないだろうかと思っている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ それでは、この第3号は承認ということでよいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 日程第4の報告第4号、これはこども企画総務課。岡山っ子育成局分の一般会計予算案、これについて報告をお願いする。</p>
<p>こども企画総務 課長</p>	<p>○ 令和4年度一般会計当初予算案のうち、岡山っ子育成局分についてご説明させていただきます。</p>



資料の6ページの概要をご覧ください。

岡山っ子育て局における令和4年度の予算は、総額で5億8,425万円余で、前年度に比べて金額で2,645万円余、率にして4.3%の減となっている。

主な増減理由としては、資料の7ページをご覧ください。

教育費の令和4年度当初予算案における事務事業について8項目上げている。

まず、第20項幼稚園費である。幼稚園運営経費は、市立幼稚園の光熱水費等の運営に係る経費等である。こども園移行に伴い、人件費や光熱費などの運営経費が減額となっている。

幼稚園施設管理費は、市立幼稚園施設の維持管理に必要な経費等で、幼稚園の空調設備の整備に伴い増額となっている。

就園管理課事務費は、幼稚園事業に携わる職員の人件費で、職員給与改正による増額となっている。

幼保運営課事務費は、幼稚園事業に携わる職員の人件費で、職員の人事異動に伴い増額となっている。

幼稚園事務費は、幼稚園入退園及び幼稚園授業料に関する事務費等で、経常経費の見直しに伴い、事業費等が減額となっている。

続いて、第25項社会教育費である。

次世代育成事務費は、次世代育成事業に携わる職員の人件費で、職員の人事異動に伴い減額となっている。

次世代育成体験活動促進事業費は、体験学習活動の推進などの社会教育活動促進事業費である。令和3年度に延期された令和2年度の新成人の集いに係る経費が減額となっており、減額となっている。

少年自然の家運営費は、少年自然の家、日応寺自然の森の管理運営事業費である。工事請負費が減額となっている。

○ それでは、岡山っ子育て局分、ご質問、ご意見があればお願いします。

○ 〈なし〉

○ それでは、報告第4号、承認してよろしいか。

○ 〈承認〉

○ 第4号を承認する。

続いて、報告第5号、一般会計予算案のスポーツ振興課分、報告をお願いします。

○ では、お手元の資料8ページをご覧ください。

令和4年度岡山市一般会計予算案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案への同意について教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、令和4年2月15日に専決処理をしたものである。

続いて、9ページをご覧ください。

内容としては、第10款教育費中第30項保健体育費、第5目体育振興費のうち、学校体育施設開放事業に係る施設の電球等消耗品、施設修繕、原材料費及び備品購入費として1,327万3千円を当初予算として計上するものである。

令和3年度当初予算からの増減率としては、32.1%の減少である。この主な理由としては、工事請負費の減によるもので、令和3年度は、豊小学校防球ネット改修工事を行ったが、令和4年度は実施予定の工事がなかったためである。

○ 何かご質問、ご意見はあるか。

○ 豊小学校の防球ネットの改修工事で令和3年度は予算が膨らんでいたというふうなご説明だったと思うが、この32.1%と大幅減額になっているのは、その前、令和2年度の予算額というか、それとほぼ同額ぐらいに戻ったという理解でよろしいか。

教育長  
全委員  
教育長  
全委員  
教育長

スポーツ振興課  
長

教育長  
河内委員

スポーツ振興課長	○ 令和2年度から令和3年度、令和3年度から令和4年度、ずっと下がりっ放しの状況である。工事請負費のほうが年度によりまちまちであり、その関係もあって、そういった状況にはなっている。
河内委員	○ 例えば何かの事故とか、何かで修理が必要になるようなときがあれば、また補正でそれは組んでいくと。取りあえず、今の時点で令和4年度の大きな工事の予定はないということであるか。
スポーツ振興課長	○ 予定としては、大きな工事のほうは予定はないが、そういった突発的な事象が発生した場合については、随時緊急の修繕とかいった対応のほうを取らせていただく。
教育長	○ そのほかないか。
全委員	○ 〈なし〉
教育長	○ それでは、報告第5号、承認してよろしいか。
全委員	○ 〈承認〉
教育長	○ 報告第5号、承認とする。 次に、報告第6号、学童校外事故共済事業費、保健体育課から報告をお願いする。
保健体育課長	○ 資料の10ページ目、11ページ目をご覧いただきたい。 報告の第6号である。提案理由としては、令和4年度岡山市学童校外事故共済事業費特別会計予算案への同意につきまして、教育委員会に付議する時間的な余裕がなかったため、令和4年2月15日にこの専決処理をしたものである。
	11ページ目のほうにその内容的なものを書いている。ご覧いただきたい。
	事業の内容としては、簡単に申し上げると、市内在住の義務教育課程在学中の児童生徒が学校管理下外における死亡またはけがをした場合に、見舞金を支給し、学童の健全な育成と福祉の増進に資することを目的として実施している共済ということである。
	11ページの項目についてであるが、前年度よりも大体147万円ほど増額した予算編成となっている。歳入予算の合計は、1,391万3千円となっている。
	歳入については、共済会費収入1,220万6千円は、1人年額300円の会費収入である。
	財産運用収入15万2千円は、学童校外事故共済基金から生じる預金利子である。
	基金繰入金156万円は、学童校外事故共済基金からの繰入金である。
	令和3年度には、見舞金の財源不足を11月補正予算で補ったけれども、令和4年度当初予算では、基金から最初に繰入れをするようにしている。
	次に、歳出については、共済事業費が1,391万3千円ということで、これは、校外事故に対する見舞金の給付と事務費、そして基金積立金である。
教育長	○ 何かご質問、ご意見はないか。
全委員	○ 〈なし〉
教育長	○ 報告第6号、承認してよろしいか。
全委員	○ 〈承認〉
教育長	○ 第6号、承認する。 続いて、報告第7号、こども園推進課から認定こども園条例の一部を改正する条例の制定についてお願いする。
こども園推進課長	○ 市議会の議決を経るべき議案(岡山市立認定こども園条例の一部を改正する条例)の原案への同意について、教育委員会に付議する時間的な余裕がなかったため、令和4年1月27日に専決処理をしている。
	条例改正の概要としては、令和4年4月1日に開園する市立認定こども園として庄内認定こども園、そして妹尾認定こども園のほうを追加しようとするものである。併せてこども園に移行する庄内幼稚園、庄内保育園、妹尾幼稚園を

<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p> <p>文化財課長</p> <p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長 教育長</p>	<p>廃止するため、附則におきまして岡山市立学校条例及び岡山市立保育所条例の一部を改正するものである。</p> <p>○ 何かご質問、ご意見はあるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、報告第7号、承認してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 報告第7号を承認する。</p> <p>次に、日程第5、第2号議案、文化財課から説明をお願いします。</p> <p>○ 資料の21ページから26ページをご覧いただきたい。</p> <p>岡山市文化財保護審議会への諮問についてである。</p> <p>本件は、新たに岡山市指定文化財へ指定するため、岡山市文化財保護条例第10条に基づき、教育委員会があらかじめ岡山市文化財保護審議会に諮問を行い、意見を求めようとするものである。</p> <p>今回、指定を行おうとする物件は2件ある。</p> <p>1件目は、岩熊八幡宮本殿である。岩熊八幡宮は、岡山市東区百枝月に所在する。岩熊八幡宮本殿は屋根を入母屋造とするやや小規模な三間社である。正側面3方に擬宝珠高欄付の切目縁をめぐらし、軒は一軒繫垂木とし、浜床、浜縁を設ける。木鼻や海老虹梁の絵様から18世紀前期頃の建立と見られる。</p> <p>岩熊八幡宮本殿は、組物や彫刻なども控え目で派手さはないが、堅実な仕事となされている建物であり、地域の神社建築を示す事例として非常に貴重である。</p> <p>2件目は、岡山市北区日応寺が所蔵する釈迦如来立像である。</p> <p>本像は、髪際で94.0センチを測る。三尺像の範疇に入る像である。右手は施無畏印、左手は与願印を表し、蓮華座上に立つ通形の釈迦如来像である。面貌・着衣とも表現を図式的に整理する傾向が見られるが、全般に造像技術は高く、13世紀に流行した張りのある表現を継承しつつ、華やかさを加えて像容を手堅くまとめ上げている点が評価される。</p> <p>なお、岡山市文化財保護条例に基づく指定文化財は、26ページにお示したように、認定1件を含めて、現在は120件ある。</p> <p>以上の2件について、よろしく願います。</p> <p>○ 何かご質問、ご意見はあるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、第2号議案、原案どおり可決してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 原案どおり可決する。</p> <p>○ 次に、非公開の審議に移るので、関係者以外の方は退席をお願いします。</p> <p>以上で公開議案の審議は全て終了する。</p>
--	--

傍聴の状況		
報 一	道 般	1名 0名

令和4年2月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和4年2月22日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	15時00分	
	閉 会	15時08分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	河 内 智 美	
	委 員	石 井 希 典	
	委 員	上 西 芳 樹	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
次長（教育総務部長兼務）	赤野政治	学校教育部長	谷岡哲郎
生涯学習部長	小坂正樹	教育企画総務課長	重河啓子
教職員課長	齋藤靖	教職員課課長補佐	政久秀生
5 議題及び結果			
報告第8号	専決処理の報告（岡山市教育委員会事務局職員の人事について）	承認	
第3号議案	岡山市立学校教職員の人事について	原案可決	
第4号議案	岡山市教育委員会事務局職員の人事について	原案可決	